

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

賀茂環境衛生センター

(2) 事業所の所在地

東広島市西条町上三永766番地1

(3) 業種

ごみ処分業(8816)

(4) 事業所位置図

別紙「平面図」のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成27(2015)年度を基準年度とし、平成28(2016)年度から平成32(2020)年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

1 基本的な考え方

当施設は、温室効果ガス削減についてエネルギー管理標準に基づき冷暖房の温度設定、休憩時間の消灯等に取り組んでいき、環境への負荷の低減を推進します。

特に、環境問題のなかでもとりわけ重要視されている地球温暖化防止については、実行計画において数値目標及び行動目標を定め、温室効果ガスの排出抑制に努めていきます。

2 方針

○ 省エネルギー、省資源の推進(電気使用量の削減)

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成27年度	平成 年度
二酸化炭素		7,540	

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成27年度	平成 年度
二酸化炭素		22,304	

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成 年度	平成 年度
メタン			
一酸化二窒素			
HFC PFC SF6			

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成27年度)	削減目標		目標年度 (平成32年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂	7,540	1.0	75	7,465
非エネルギー起源CO ₂	22,304	0.0	0	22,304
メタン				0
一酸化二窒素				0
フロン類				0
温室効果ガス 実排出量総計	29,844	0.3	75	29,769
温室効果ガス みなし排出量		-		29,769
目標設定の考え方	エネルギー起源CO ₂ は排出量年1%の削減率、 非エネルギー起源CO ₂ の削減率は0%とする。			

※ 削減率(b) = (c)/(a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量(kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)			原単位 削減目標	基準年度 (平成 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂				#VALUE!			
非エネルギー起源CO ₂				#VALUE!			
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
フロン類				#VALUE!			
総排出量				#VALUE!			
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	-	-		0.0	-	-	
目標設定の考え方							

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	電気使用量の削減	電気の使用量を1%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・冷暖房温度の適正管理 ・エレベータ利用の自粛 ・高効率照明器具への更新 ・休憩時間の消灯 ・未使用時の消灯
2			
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

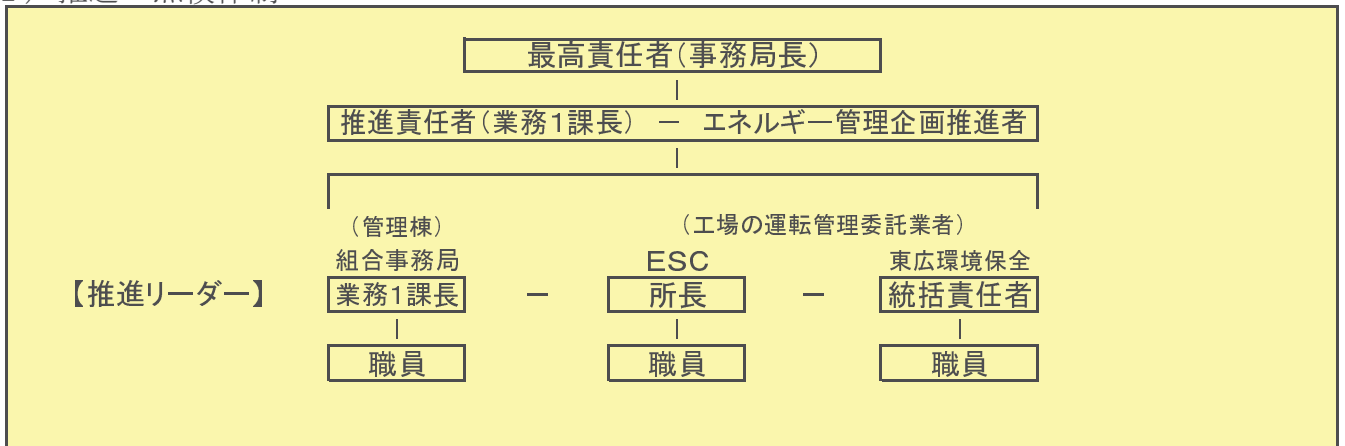
○ その他の取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

実施状況の点検及び評価は業務1課、ESC所長、東広環境保全統括責任者で行い、年度ごとに実施年度の翌年度に当該年度の温室効果ガス排出状況及び取組状況の把握し、温室効果ガス削減目標の達成状況を確認して、目標の達成に向けて今後の課題等について協議する。

(3) 計画書等の公表

温室効果ガス削減計画書及び温室効果ガス削減実施状況報告書の公表は、事務所への備付による閲覧とする。